

# 新城小 UD

## 対話的な学びにつなげるための共有化

## のポイント



### 対話の目的やゴールの明確化

- 活動前に対話の目的やゴールを示し、見通しを持たせる。
- 話合いの課題、時間、まとめの方法（1つにまとめるか、多様な意見を挙げるかなど）を具体的に示す。

#### ◎話合いの際の児童の目的とゴールの例

目的	・自信を付ける	・考えが正しいか確かめる
	・考えるヒントにする	・考えを広げる
	・考えを比べる（同じところや違うところ）	
	・よりよい考えを決める	・協力して課題を解決する
ゴール	・考えが正しいか確かめる	・ペアやグループ全員と考えを伝え合う
	・考えのヒントを見付ける	・考えの同じところや違うところを見付ける
	・グループでよりよい考えをまとめる	・課題を解決する

### 対話の方法の工夫

#### ペア学習やグループ学習の効果的な設定

**ペア学習** ……自分の考えを書く前の手掛かりとなるヒントを得たり、話合いによる確認をしたりする場合など。

#### グループ学習

##### [ 低 学 年 ]

・友達と考えを伝え合い、友達の考えを知る場合など。

##### [ 中 ・ 高 学 年 ]

・異なる視点からの意見など、多様な考えを聞き、自分の考えを広げたり深めたりする場合など。



#### ※留意点※

- 自分の考えをノートやワークシートに書かせて、考えを整理させてから話し合わせる。
- 話合いの進め方やルールを明確にしたり、学習リーダーを決めて進行をさせたりして、児童が主体的に話し合えるようにする。
- 話合いの観点を示して、何について話し合うかを具体的に示す。
- 課題や目的、児童の実態に配慮して意図的なグルーピングを行う。

## 話し合いを活性化させるためのツールの活用

### 自分の考えを整理する

シンキングツール



付箋



ワークシート



自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を知る

タブレット



ホワイトボード



互いの考えを伝えたり, よりよい考えをまとめたりする

ホワイトボード



付箋

## 教師のかかわり方の工夫

- 話し合いにおける児童のつまづきを予想し, それに対応した工夫や配慮を行う。
- 考える視点を与えたり, 児童の考えをつなげたりして, 対話を活性化させる投げ掛けを行う。

### ◎指名や投げ掛けの例

- ・共通点や相違点を考えさせる。
- ・自分の経験を想起させる。
- ・他者の意見に対する自分の考えを述べさせる。
- ・友達の考えのよさを見付けさせる。 など



- 学習のまとめは, 児童に自分の言葉でまとめさせたり, 教師が児童の考えや言葉を生かしてまとめたりする。